

旅行報告書

会派名 公明党

会派代表者 牧下 恭之

平成30年5月14日

旅行者氏名	旅行者氏名
牧下 恭之	

下記の用務のため旅行しましたので報告いたします。

1 期間 自:平成30年5月9日(水曜日)

至:平成30年5月11日(金曜日) 2泊3日

2 旅行先及び用務

旅行先	目的
千葉県市原市	JNC石油化学株式会社 市原製造所 表敬及び工場見学
東京都千代田区	日本自治創造学会研究大会への参加 「人生100年時代の地域デザイン」 ～人口減少社会に向き合う地域社会～

2018年度日本自治創造学会研究大会

平成30年5月10日(木) 13:00~17:40

11日(金) 9:30~14:55



○講演

人生100年時代の人づくり 高橋 進 日本総合研究所千エアマン

テーマ

- ① 全ての人に教育機会の確保、負担軽減、無償化、そして、何歳になっても学び直しができるリカレント教育
- ② これらの課題に対応した高等教育改革
- ③ 新卒一括採用だけでなく企業の人材採用の多元化
- ④ 高齢者向け給付が中心を社会保障制度を全世代型社会保障へ改革していく

進捗状況

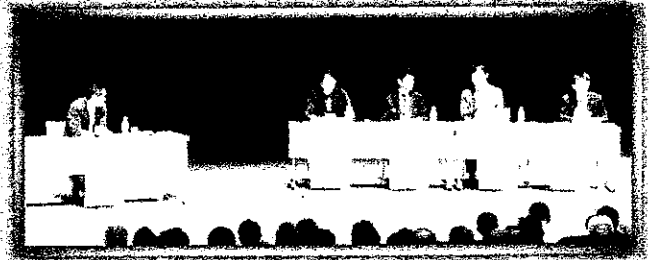
- 1、幼児教育の無償化
2020年4月から全面的に実施
- 2、待機児童の解消
保育士の処遇改善・賃上げ実施
- 3、高等教育の無償化
2020年から実施
- 4、財源 消費税10%の増収分を
 - ① 教育負担軽減・子育て層支援
 - ② 財政再建にと概ね半分ずつ充当

大学は一般教養の提供では、社会のニーズに応えられないと思う。
高齢者雇用が人材確保のカギ、企業の新卒一括採用だけではやっていけないと感じる。

○パネルディスカッション

若者たちの挑戦—人口減少社会の地域デザイン

- 山崎 亮 (株)studio—L代表取締役
- 伊藤 文弥 NPO法人つくばアグリチャレンジ代表理事
- 横山 太郎 医師
- 李 炯植 NPO法人Learning for代表理事
- 井上 貴至 総務省



「地域づくりは仲間づくり」

各地での取り組みにより、仲間づくり、障害者雇用、子どもの貧困問題に正面から向き合い、成功事例の紹介があった。
要点は、原点を思い返すこと。他人の喜びを自分の喜びとする。
関心が無い人も含めて全ての住民が対象。いい事例を積極的に学んで、地元置き換えて実践。自分たちで価値をつくる。地域のミツバチとなる。

○人生100年時代の政府の取り組み 菅 義偉 内閣官房長官



○これからの日本をどうする 佐々木 信雄 中央大学名誉教授

道州制移行が赤字を解消する

【4つの理由】

道州制への移行は、①地方分権を進め地域主権の国をつくるためにも、②1200兆円を超える膨大な借金大国を克服する財政再建、③省庁再編と府県再編による行財政効率化のためにも、④人口縮小化時代に相応しい新たな統治の仕組みを生み出す不可欠な大改革である。

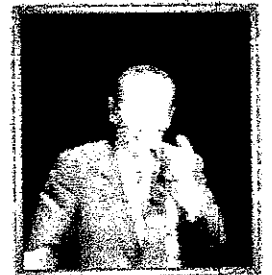
○ごちゃまぜ共生社会で創る日本の未来 雄谷 良成 社会福祉法人佛子園理事長

○空き家対策と活用策 伊藤 明子 国土交通省住宅局長

- ①「安心R住宅」特定既存住宅情報事業者団体登録制度
- ②新たな住宅セーフネット制度の仕組み
- ③農地付き空き家の活用促進
- ④建築基準法の一部を改正する法律案の概要
- ⑤所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法案



○人口減と対峙する地方議会 北川 正恭 元三重県知事



○日本の目指す道 新藤 義孝 元総務大臣

- 2018年度予算・法案の重点施策
- 働き方改革
- 地方創生 主な基本目標
- 行政ICT化の実践
- グローバルコミュニケーション計画の推進
- G空間防災システム



独断的な主張及び話に頷く面と、どうかなどの思いがありました。
総合的には、各地で頑張る人たちの事例が大変参考になった。
また、道州制移行による年間30兆円の削減には興味を湧く講演であった。



旅行届

会派名 公明党

会派代表者 牧下 恭之

下記の用務のため旅行いたしますので届け出ます。

平成30年10月12日

旅行者氏名	旅行者氏名
牧下 恭之	

1 期間 自:平成30年11月13日(火曜日)

至:平成30年11月15日(木曜日) 2泊3日

2 旅行先及び用務

旅行先	目的
京都府京都市	①「総合的な空き家対策の取り組み方針」について ②本市におけるメガソーラーの整備に係る要望等について
京都府長岡京市	マンホールトイレについて

会派合同視察

2018年(平成30年)11月13日～15日
公明党 牧下 恭之



京都市「空き家対策」

【京都市の空き家の状況】

- 空き家率は14.0%、全国平均13.5%を上回る。
- 他都市に比べ、賃貸や売却の予定がなく活用意向のない「その他」の空き家の割合が多い。
- 市内に約40000軒ある京町屋のうち、約5,800軒が空き家。
- 路地が多く、再建築困難の理由から、空き家率も高い。
- 世帯数721,000、空き家戸数114,000、その他空き家45,000戸(39.5%)

京都市の現在の取り組み(総合的な空き家対策)

- ①意識啓発、空き家化の予防
- ②活用・流通の促進
- ③管理不全空き家対策
- ④密集市街地・細路地対策との連携

市場に流通していない空き家を対象に、所有者の活用意向を後押しし、流通・活用を促すため、修繕・模様替えや家財の撤去等の慰撫補助。

- ①支援対象:1年以上居住者がなく、売却用又は賃貸用でない戸建て・長屋建て住宅
- ②支援内容:工事費用の1/2かつ上限30万円(京町屋等の場合は上限60万円)

避難地の確保など地域の防災上有効な「ひろば」として、土地を提供(定期借地)に、広場の整備費を助成(固定資産税非課税)
 建物の除却費:工事費9/10最大100万円
 ひろばの整備費:最大200万円

老朽木造建築物の除却
 工事費の2/3最大60万円

京都市空き家活用、適正管理等に関する条例を平成25年12月に制定。

- ①空き家発生予防
- ②空き家の活用
- ③跡地の活用

○自治組織等が専門家と連携。活動費の助成
 年間最大50万円・4年間

留学生の住まい、若手芸術家等の居住・政策の場

- ①支援対象:現に居住者がなく、売却用又は賃貸用でない戸建て・長屋建て住宅及び店舗
- ②支援内容:工事費用の2/3かつ上限60万円(京町屋等の場合は上限90万円)

空き家まちづくりの資源と捉えた新しい活用方法の提案に、改修工事費に対して最大500万円を助成。

平成26年度4件、
 平成27年度3件、
 平成28年度2件。

平成27年4月、平成29年1月に代執行により、管理不全空き家の解体・除却を実施。

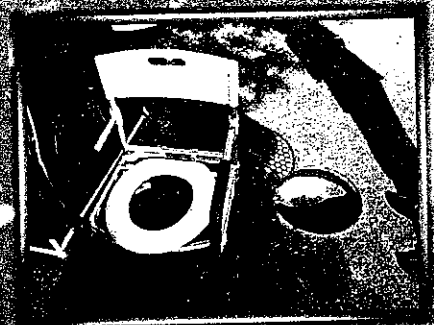


長岡京市「マンホールトイレ」



概要 一時避難所となる市内全14小中学校に
5年間(H21~H25)で災害用マンホール
トイレを204基設置。

事業費 下部構造物(地中部)1千万円/校×14校=1億4千万円
便座・テント 5万円/基×204/基=1千万円
全体事業費 約1億5千万円
(国庫補助事業50%・地震対策緊急整備事業)



【問題点】

- ①子どもたちが使用できるように、便座の高さを調節すること。
- ②便座汚れに、雨水貯蔵タンク等を設置する必要がある。
- ③仮設テントで強い雨・風に対して不安定である。
- ④当初は洋式のみであるが、和式便座も揃えている。
- ⑤2~3年ご回は点検の必要性がある。
- ⑥緊急時は職員派遣はできないので、各自治会に使用方法・便座及びテントの収納場所の確認とサポート体制の構築が必要。
- ⑦使用後の防臭対策や維持管理体制をどうしていくか。
- ⑧防犯面・施設・夜間照明の強化体制をどうするか。
- ⑨耐震化整備をどう進めていくのか。



【効果】

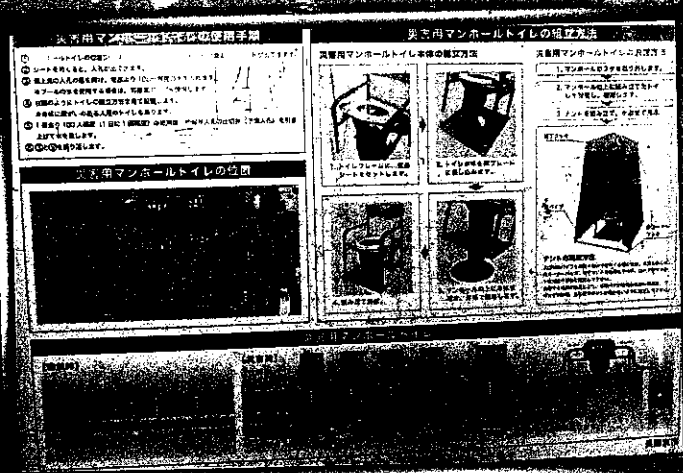
- ①汚物などの滞留や流失防止、衛生環境面を確保。
- ②避難所にすぐ使用できるトイレがある。
- ③市の防災訓練で、初めての方でも設置可能。
- ④小学校の環境学習、小学生でも設置可能。
- ⑤自治会の小規模な防災訓練でも利用したい。

【視察して】

収容人数100人に対し、マンホールトイレ1基設置している。

学校敷地内に設置するので、設置場所の検査・校舎のグラウンド下に埋設箇所は、設置までにかなりの労力が必要。

災害は何時起きても不思議でない場合には、最優先のマンホールトイレの設置は必要であると思う。



旅費概算払計算書 (精算書)

旅行者	(所属) 水俣市議会	(職名) 市議会議員	(氏名) 牧下 恭之	総務課確認
旅行日程	30年 5月 9日~ 30年 5月 11日		2泊 3日	②
旅行目的	会派視察(千葉県市原市、東京都千代田区)			


旅 費 算 出									
概 算 払						精 算			
旅行行程	交通機関	距離 (km)	料 金		往・片	計	料 金		計
			運 賃	特急料金等			運 賃	特急料金等	
水俣 ↓ 鹿児島空港	空港バス		1,650		片道	1,650			
↓ 羽田空港	航空機		先割		片道	13,100			
↓ 五井駅	高速バス		1,350		片道	1,350			
↓ 御茶ノ水	J R	51.8	970		片道	970			
↓ 羽田空港	J R モノレール	22.7	650		片道	650			
↓ 鹿児島空港	航空機		先割		片道	12,100			
↓ 水俣市	空港バス		1,650		片道	1,650			
↓									
↓									
↓									
↓									
↓									
↓									
↓									
↓									
↓									
交通費計						31,470 円			円
日当		3,000 円 × 3日 =				9,000 円			円
宿泊費		14,800 円 × 2泊 =				29,600 円			円
食卓料		円 × 食 =				0 円			円
旅費計						70,070 円			円

- 記入要領
- 1 交通機関の欄は、公用車、JR、私鉄、地下鉄、バス等の交通機関名を記入する。
 - 2 距離の欄は、距離によって運賃等を計算する場合(JR等)に、当該路程の距離を記入する。
 - 3 運賃の欄は、交通機関の乗車運賃を記入する。
 - 4 特急料金等の欄は、特急料金、指定席料金及びグリーン料金等の合計金額を記入する。
 - 5 往・片の欄は、運賃の欄が往復料金又は片道料金の区分に応じ、往復又は片道を記入する。
 - 6 精算の欄は、実際に旅行に要した金額を記入する。
 - 7 航空機を利用した旅行又はバック旅行の場合は、裏面により運賃を計算する。


費用弁償(旅費)受領書

・用務名:会派視察(千葉県市原市、東京都千代田区)(平成30年5月9日~11日)

・内 訳:旅費算定書のとおり

補職名	氏 名	住 所	受領金額	受領月日	受領印
議員	牧下 恭之	水俣市牧ノ内16-55	70,070	4月27日	
合 計			70,070		

旅費概算払計算書(精算書)

旅行者	(所属) 水俣市議会 (職名) 市議会議員 (氏名) 牧下 恭之						総務課確認		
旅行日程	30年 11月 13日～ 30年 11月 15日 2泊 3日								
旅行目的	会派視察(京都府京都市、長岡京市)								
旅 費 算 出									
概 算 払						精 算			
旅行行程	交通機関	距離 (km)	料 金		往・片	計	料 金		計
			運 賃	特急料金等			運 賃	特急料金等	
水俣 ↓ 京都	新幹線	855.4	10,490	9,530	往復	40,040			
↓ 京都市役所前	京都市営地下鉄	3.6	260		片道	260			
↓ 京都	京都市営地下鉄	3.6	260		片道	260			
↓ 長岡京	JR	10.1	220		往復	440			
↓									
↓									
↓									
↓									
↓									
↓									
↓									
↓									
↓									
↓									
↓									
↓									
↓									
交通費計						41,000円			円
日当	3,000円 × 3日 =					9,000円			円
宿泊費	14,800円 × 2泊 =					29,600円			円
食卓料	円 × 食 =					0円			円
旅費計						79,600円			円


記入要領

- 1 交通機関の欄は、公用車、JR、私鉄、地下鉄、バス等の交通機関名を記入する。
- 2 距離の欄は、距離によって運賃等を計算する場合(JR等)に、当該路程の距離を記入する。
- 3 運賃の欄は、交通機関の乗車運賃を記入する。
- 4 特急料金等の欄は、特急料金、指定席料金及びグリーン料金等の合計金額を記入する。
- 5 往・片の欄は、運賃の欄が往復料金又は片道料金の区分に応じ、往復又は片道を記入する。
- 6 精算の欄は、実際に旅行に要した金額を記入する。
- 7 航空機を利用した旅行又はパック旅行の場合は、裏面により運賃を計算する。

費用弁償(旅費)受領書

・用務名:会派視察(京都府京都市、長岡京市)(平成30年11月13日~15日)

・内 訳:旅費算定書のとおり

補職名	氏 名	住 所	受領金額	受領月日	受領印
議員	牧下 恭之	水俣市牧ノ内16-55	79,600	11月7日	
合 計			79,600		